

総務委員会

デジタル・スマートシティ推進課

浜松市DX推進計画の骨子案について

本年7月1日に施行された「浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例」における基本指針に基づく計画として、「浜松市DX推進計画」を策定します。

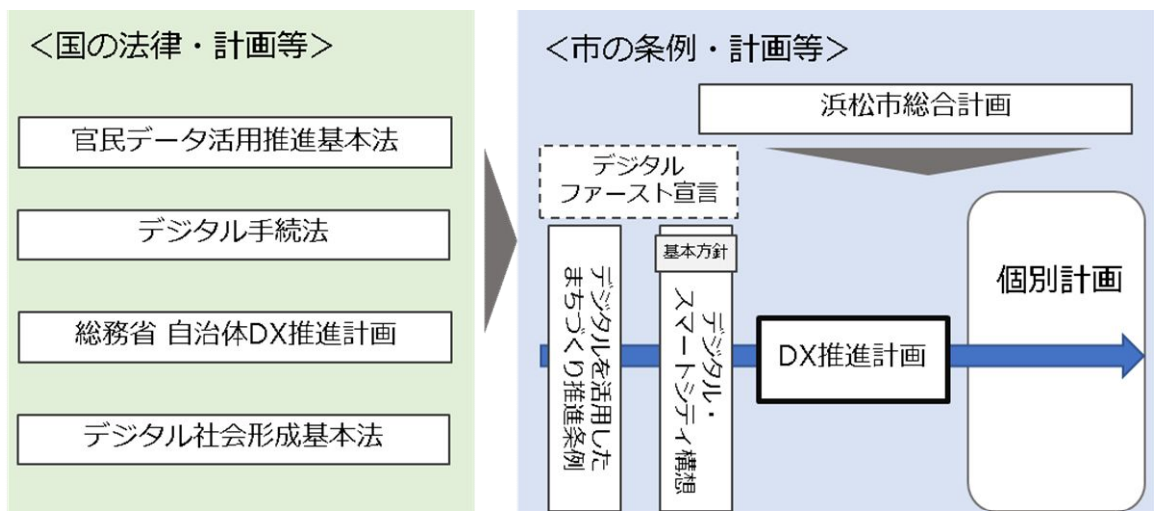
また、策定にあたりまして、令和4年9月中旬から10月中旬まで、パブリック・コメントの実施を予定しています。

1 策定の趣旨

- ・ 国の各種法律（官民データ活用推進基本法やデジタル社会形成基本法等）の制定や、総務省「自治体DX推進計画」の策定、本市の「デジタルを活用したまちづくり推進条例」の制定等を踏まえ策定。
- ・ デジタル・ガバメントや官民のデータ活用を本計画に基づき効果的に推進し、取組を加速する。

2 計画の位置付け

浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例第6条第2項に基づく計画及び官民データ活用推進基本法第9条第3項に規定する市町村官民データ活用推進計画として位置付ける。



3 計画期間

2023（令和5）年1月～2025（令和7）年3月

※計画の終期は、浜松市デジタル・スマートシティ構想第一期（2020年度～2024年度）の終期に合わせる

4 計画の内容

(1) 目指す方向性

人に寄り添ったデジタルの活用

～安心・安全、便利で快適な市民サービスの実現～

(2) 推進方針

- ① 人が中心、デジタルは手段
- ② 個人情報の保護とプライバシーへの配慮
- ③ 社会環境の変化に対応した変革（意識・制度等）
- ④ 小さく始めて、改善を繰り返す
- ⑤ システム所有からサービス利用へ

(3) 取組事項

「市民サービスの向上」及び「自治体の生産性向上」の2つの項目について、行政手続きのオンライン化の推進やデジタルを活用した業務改革の推進等、具体的な取組を記載

※パブリック・コメント実施時には、別途解説版を作成する予定

5 計画策定スケジュール（予定）

時期	内容
令和4年7月19日	総務委員会報告（骨子案、スケジュール案）
令和4年9月	総務委員会報告（パブリック・コメント素案）
令和4年9月中旬～10月中旬	パブリック・コメント実施
令和4年11月	総務委員会報告（市の考え方）
令和4年11月	市の考え方公表
令和5年1月	計画策定・公表

■ はじめに DX：デジタル・トランスフォーメーション。デジタル技術を活用して、従来のビジネスや組織を変革すること。

策定趣旨

- ・国の各種法律（官民データ活用推進基本法やデジタル社会形成基本法等）の制定や総務省「自治体DX推進計画」の策定、本市の「デジタルを活用したまちづくり推進条例」の制定等を踏まえ策定。
- ・デジタル・ガバメント（電子行政）や官民データの活用を本計画に基づき効果的に推進するとともに取組を加速する。

背景

<社会情勢>

- ・人口減少、少子高齢化
- ・成熟社会、価値の多様化
- ・With/Afterコロナのニューノーマル時代
- ・デジタル化の進展

<国の動向>

- ・2016年12月 官民データ活用推進基本法の施行
- ・2020年12月 総務省「自治体DX推進計画」策定
- ・2021年9月 デジタル社会形成基本法の施行及びデジタル庁の設立

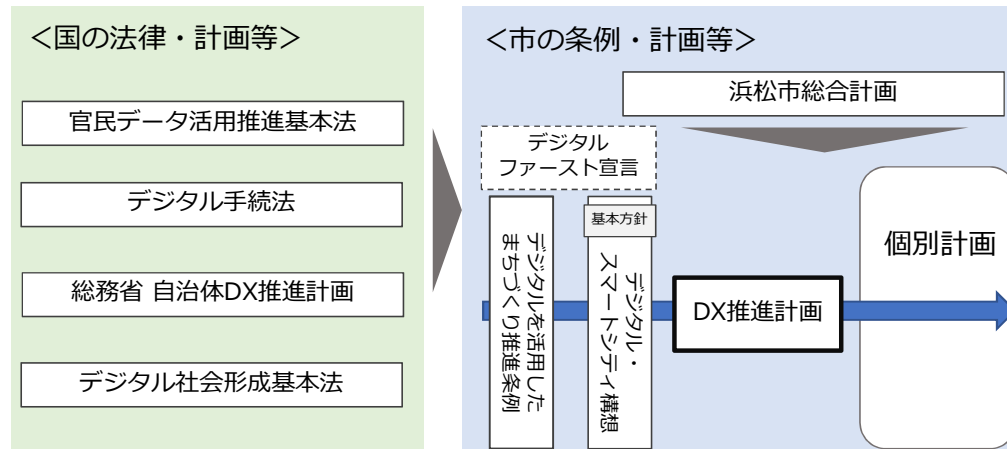
<本市の取組>

- ・2019年10月 デジタルファースト宣言
- ・2020年4月 体制整備（庁内・庁外）
- ・2021年3月 デジタル・スマートシティ構想の策定
- ・2022年7月 デジタルを活用したまちづくり推進条例の施行

位置付け

浜松市デジタルを活用したまちづくり推進条例第6条第2項に基づく計画及び官民データ活用推進基本法第9条第3項に規定する市町村官民データ活用推進計画として位置付けます。

※浜松市情報化基本方針は、当計画に統合



計画期間

2023年1月～2025年3月

※個別の取組やロードマップは、計画策定時の想定であり、推進本部の進捗管理で適宜見直します

■ 推進体制等

推進体制

<庁内体制>

デジタル・スマートシティ推進本部

（本部長：市長、事務局：デジタル・スマートシティ推進課）

<外部人材の活用>

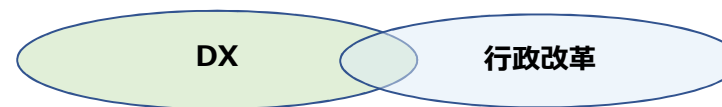
効果的にDXを推進するため、浜松市フェローなど積極的に外部人材を活用します。

人材育成

DX人材に求められる知識、スキル、意識等を身につけるため、体系的に人材育成を行います。

DXと行政改革を一体的に推進

単にデジタルツールの活用ではなく、市民目線で行政サービスを設計するとともに、業務プロセスの見直しをはじめ行政改革とDXを一体的に推進します。



情報セキュリティの確保等

<情報セキュリティの確保>

「浜松市情報セキュリティポリシー」に基づき情報セキュリティ対策を講じます。

<ICTガバナンスの確立>

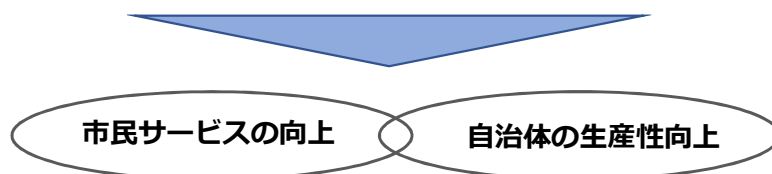
「浜松市情報システムの企画・調達・運用に関する適正化ガイドライン」に沿って情報システム等を調達し、システムの品質向上や調達プロセスの標準化・透明性の確保、情報化に要する経費の抑制を図ります。

■ 目指す方向性と推進方針

外部環境 「人口減少・少子高齢化」「変化のスピードが速い」「成熟社会・価値の多様化」「デジタル化の急速な進展」

目指す方向性

人に寄り添ったデジタル活用
～安全・安心、便利で快適な市民サービスの実現～



人に寄り添ったデジタル活用のイメージ



推進方針

- ① 人が中心、デジタルは手段
- ② 個人情報の保護とプライバシーへの配慮
- ③ 社会環境の変化に対応した変革（意識・制度等）
- ④ 小さく始めて、改善を繰り返す
- ⑤ システム所有からサービス利用へ

■ 取組事項の体系

【市民サービスの向上】

- ① 行政手続きのオンライン化の推進
- ② 書かないワンストップ窓口の推進
- ③ キャッシュレス決済の推進
- ④ 電子契約・電子請求の推進
- ⑤ 情報発信や相談等のスマート化
- ⑥ デジタルを活用したコミュニケーションのUD化
- ⑦ デジタル活用のサポート
- ⑧ オープンデータの推進
- ⑨ マイナンバーカードの普及及び活用
- ⑩ セキュリティ及び個人情報の適切な取扱いの確保

【自治体の生産性向上】

- ① LGX※推進に向けた組織・職員意識の変革
- ② LGX推進に向けたインフラ環境の整備
- ③ テレワーク等柔軟な執務環境の整備
- ④ ペーパーレス化の推進
- ⑤ 情報システムの標準化・共通化
- ⑥ デジタル活用による業務改革の推進
- ⑦ データを活用した政策立案の推進

※LGX：ローカルガバメント・トランスフォーメーション（造語）
デジタル化に対応した地方自治体の変革